

【AKT秋田テレビ 2022年度第5回放送番組審議会】

秋田テレビの2022年度第5回放送番組審議会（江島清彦会長）が9月26日開かれ、2023年4月から民間放送連盟の放送基準の改正に伴い、同基準に準拠する秋田テレビ番組基準の変更の諮問を行い、妥当との答申を受けた。

また、8月27日に放送された審議番組「情熱駅伝 第75回十和田八幡平駅伝競走全国大会」については事前にレポート提出の形をとった。

「十八（ジュッパチ）」の愛称で知られる「十和田八幡平駅伝」はことしで75回目を迎える伝統の夏駅伝。多くの実業団チームや市民ランナーらが、過酷な気候の中で起伏の激しいコースを疾走する。新型コロナの影響で過去2回の大会は中止。ことし、3年ぶりの開催となった大会の様相を伝えた番組。

委員からは、「情熱駅伝」というタイトルにふさわしい迫力がある番組だった。」「開催の経緯・歴史・概要ポイントを音声・視覚で分かりやすく伝えていた。」「上空からの映像、選手の動き・表情も良くカメラで捉えていた。」

一方で、「レースの紹介は、その場面のコメントばかりで、区間記録の比較やこの大会からメジャー大会へデビューした選手の紹介などがあればもっと充実していたのでは」「女子チームの取り上げ方は付け足し感が否めなかった」といった意見もあった。